



# 「虔(つつしみ) 賢(かしこく) 健(すこやかに)」

学校教育目標 『ふるさと・人・命』を大切にし、夢や目標に向かい粘り強く努力する児童の育成

水俣第一小学校 校長 丸尾 浩輝

## 1学期終業 → 楽しい夏休み ～荷物いっぱい抱えて～

7月18日をもって第1学期の終業となりました。各学級では、1学期の振り返りとともに、夏休み期間中の過ごし方や約束事等について確認を行いました。その後、教室の片付け等を済ませ、荷物をいっぱい抱えて下校する子供たちの姿がありました。

子供たちも職員も心待ちにしていた夏休みです。楽しく、安全に過ごしてほしいと思います。



## あいさつ運動実施！ ～相手の目を見てあいさつ～

1学期、本校で最も力を入れたことの1つが、「あいさつ」です。今月は、プロジェクト委員会(児童会)の企画により、「あいさつ運動」を実施しました。重視したことは、「相手の目を見てあいさつ」です。玄関前で、委員会の子供たちが出迎え、大きな声であいさつすると、それに応えるかのように目を見て元気なあいさつが返ってきます。見ていて、とてもうれ

しくなります。これらの取組等により、校内においては、自分から先にあいさつする子供の姿が増えました。しかし、最終目標は、校外においても、自ら進んであいさつする子供の姿です。「一小の子供たちは、よくあいさつしますね。」と地域の方々からも言われるように、2学期以降も継続して取り組んでいきたいと思っています。

## 高速タイピング ～1秒間に何文字入力できるかな？～

1人1台のタブレットが導入されて数年が経ちます。日々の授業でも、当たり前のようにタブレットが活用されています。数年後には、小学校でもCBT(「Computer Based Testing」テストの回答をタブレット等で行うこと)が導入されます。そうすると、スムーズに文字入力する力が不可欠となります。その備えとして、今のうちから少しずつタイピングの練習にも取り組むこととしました。先日、6年生の様子を見て見ると、ものすごい速さで文字入力する姿がありました。速い人では、1秒間に11文字入力すること。小さい時から慣れ親しんできたそうです。とても敵いません。みんなで切磋琢磨し合いながら、タイピングの技術が向上するよう取り組んでいきたいと思っています。



## お話しレンジャー読み聞かせ ～読書大好き一っ子～

子供たちが楽しみにしていることの1つが「お話しレンジャー」による読み聞かせです。毎回、どんなお話なのかワクワクしています。「お話しレンジャー」の皆さんのお陰で、着実に「読書が好き」という子供たちが増えています。休み時間には、図書室前に貸出しを待つ子供たちの行列ができています。



## 地域の魅力発信

総合的な学習の時間に、それぞれがテーマを決め、地域の魅力発信に取り組んでいます。1学期は、水俣市の文化や環境、自然などを調べ、新聞等にまとめました。学校教育目標にあるように、「ふるさと・人・命」を大切にする姿を求め、2学期以降、児童も地域住民の一人であるという意識を高め、より具体的な取組を進めていきたいと思っています。「水俣大好き」の気持ちを高めます。